

# みんなのギョウリ

市民の皆さんの投稿コーナーです。  
誌面の都合で、掲載できないことがあります。  
締め切りは、前月10日です。

投稿・問い合わせ  
福津市中央公民館  
☎43・2100  
FAX 43・2868

## 地域婦人会だより

### 結核予防全国大会に出席して

公益財団法人結核予防会総裁の秋篠宮紀子殿下ご臨席のもと、第66回結核予防全国大会が2日間にわたり61年ぶりに福岡県で開催されました。

県知事をはじめ福岡市長や厚生労働省のかたのあいさつがあり、全国からの参加者が二千人以上と、盛り上がった大会になりました。

福岡県婦人会の木下会長も功労者表彰状を秋篠宮妃殿下から直接いただきました。

いまだ、年間2万人以上の新結核患者が発生しており依然として主要な感染症の一つであります。

本大会を契機に、多くのかたに結核の現状や対策についての認識が深まり、結核征圧を目指して、ここ福岡から広く全国へ、そして世界に運動の輪を広めていくことができれば幸いです。

最後に博多の三天祭をマンガ家の長谷川法世さんが、博多の文化や町人気質を交え、スライドを使いながら、和やかに話されました。



地域婦人会から、17人の参加ができたことは、これからの活動にも、大いに力となり有意義な大会でした。

問い合わせ 井手利子 ☎42・2524

### 【川柳「虹の会」】

かあさんのふくくちぶえはあつたかい  
六歳 藤本こころ  
しろい花いっぱいさいてきれいだな  
小一 安部 奏  
アルパカの毛はもふもふであったかい  
小一 安西 夏海  
亀さんのにゅーつとのびる長い首  
中一 安西 七海  
チョコなんてどうでもいいが気になる日  
空谷 弘道  
老いていくわが身しみじみ愛おしい  
百武 海子  
雪の朝消しては書いて手紙出す  
林田恵津子  
低音の響きにも慣れ声変わり  
中山 さえ  
どうしよう入退院も十年目  
奥 節子  
空を舞うさくらと共に消えた恋  
久保山裕昭  
大吉をそーつと置いていくナース  
水谷そう美  
さくら散る寺に詣でる約束は  
下釜 京子  
適当に女一人の夕ごはん  
柳田 涼子  
アツチツチ熱い物には意地がある  
東 浩子  
ままごとの菓座にさくらの散る登餉  
安井 秀子  
水雨浴び虫は慌てて土の中  
松井 貞子  
介護の手ちよつと休めて絵筆持つ  
村山 明美  
友に会うころのペール纏いつつ  
樫根 わ子  
はぐれ雲ふんわり奇蹟待っている  
長井すみ子  
誰にでも笑顔わたしはピエロかも  
河内やすこ

### 【海】

花菜摘む老婆にあいさつ受ける犬  
つるみつを  
穏やかな日々を願いて鬼遣らい  
前田フヂエ  
空爆にアラアの声まだ凍てしまま  
小林 淑子  
かもめ舞い夕日ひたひた船宿り  
田中 照子  
春寒やビルの屋上汽車走る  
岡部ヤエ子  
背中押す医師のひと言日脚伸ぶ  
凡 天  
風音のぬけていく寺春障子  
原田 令子  
漣の上に遊びしカモの群  
松尾 忠義  
床上げや総身包む春の風  
藤山 圭子  
寒椿落ちて車上の花となる  
室元松希興  
友逝きて寒き窓見る風を見る  
鈴木 敦子

### 【津屋崎俳句会】

薄 美津子  
うつとりと波の音にも土雜  
高見 英夫  
確かなる時をかたちに落の臺  
坂井 八郎  
観潮船降りて地球のおぼつか  
中村加寿子  
店先の一等席に種袋  
吉田 照子  
春愁や犬のリールのたるみよう  
山田 章  
布団乾す妻の背中や冬日映ゆ  
竜口 雅博  
検温の不要となりし朝寝かな  
木下 正治  
寡黙なる唇繕はぬ菜飯かな

### 短歌「わたつみ短歌会詠草」

正月もすぎ孫達はみな帰り  
年寄り三人のくらしに戻れり  
浜崎 敏江  
大晦日の夜は炬燵で首を出し  
ソバも喰ったでする事がない  
山形 四郎  
枯菊の後始末でもしてみるか  
「相棒」にはまだ時間はあるから  
北富れい子  
両眼が見えなくなりし犬を曳く  
初春の陽射しがやけに明るい  
島崎 渚  
ふる里の友から届きし年賀状  
「おだやかに」と寝そべる未絵  
銭花 治代  
今日が明日何が変わるう節分の夜  
寒さも寒し白がゆを食む  
富田 浮風  
わが兄に幼なじみの嫁ぎきて  
家を守りぬ皆八十路なる  
野部フクヨ

### 【一般投稿】短歌

喘ぎつつ登る古道は雨の中  
「六根清浄」懺悔懺悔  
宗像 治子  
七歳の初心や如何に十三歳  
初心再び忘るるなかれと  
方木 修一  
寒風に棘々しくも凛と咲く  
紅色も濃き冬薔薇かな  
坂口 怜子  
猪威の音は春を告ぐるごと  
時刻みつつ遠くより聞こえ来  
野間 精一  
表現を学ぶ秘密兵器にと  
イギリスの詩集吾にくれたり  
一人なる気安き夜ごと眠る前  
魅惑的なるラヴソング聞く  
山本 夏枝  
おだやかに思いにふける千の風  
泣かすな今日は母の命日  
宙 燃

### 【一般投稿】俳句・川柳

一つ松竹尾緑地の元田んぼ  
田の神様の降臨給ふ  
松本 連蔵  
亡き兄の時計してみる自動巻き  
腕振る毎に姿濃くなり  
知らぬ間に人に守られ今が在り  
感謝感謝に氣力湧く  
本間 碧水  
オスロからコペンハーゲン夕食後  
街見物でアンデルセン像  
阿部 英子  
夜機中オーローラを見た成田着く  
リムジンバスで羽田、福岡  
阿部 英子  
雨音に蕾緩めと水坊主  
立春やカスミサンショウ待ち過ぐす  
本間 碧水  
後方前方線はぼやけたまま支援  
坂の途中で愛の定義がずれてくる  
松本 連蔵  
中原 恵子

春蕾に一つ散りけり玉椿  
来訪の友と酒吸む白子千  
管田 隆一  
弟に先を越されて独り酒  
久保山善昭  
妻愛でし紅梅今も咲きにほる  
香月 常彦  
立ち上る湯気の向こうで寒明ける  
鳥雲に入りてひとときわ海光る  
佐々木冴子  
梅の花下向き開き雨多し  
中村アサコ  
申告を終えて安堵の夕餉かな  
春霞次々浮かぶ童歌  
徳永タミ子  
輝いて天空めざす猫柳  
春めいてウオーキングする老夫婦  
御幸 静恵  
春蕾やおやじの一喝浴びたよう  
春一番万緑葉中みな躍る  
中島 久次  
冬空に舞い止まるやみさごかな  
朝日浴び薔薇く沈丁花  
木瓜ひらき紅灯りしや庭の隅  
古賀新太郎

## 囲碁・将棋大会 結果

### 市実年囲碁会2月例会

今回は、4月7日（第1火曜日）、4月21日（第3火曜日）午前10時受付締め切りにより、中央公民館和室で開催します。

	1位	2位	3位
1	佐藤 弘	猪俣 征雄	今丸 渾
2	田中 英則	今泉 武志	中嶋 孚
3	東 治夫	満生 忠雄	寛 芳武
4	佐藤 辰夫	山口 忠男	加村 光義
5	吉田 弘実	石井 隆夫	宮川 義信
6	藤井 修	桜井 峰治	中嶋 一
7	伊藤 利博	高木 正信	森北 新吉
8	能美 一丸	高島 正憲	西住 弘久
9	松尾 正久	武田 隆幸	荒巻 涉
10	城野 正雄	立和田 賽	内田 義徳
11	大塚 俊一	江頭 巖	竹石 和徳

連 満生 忠雄 ☎43・2420

### 福津市将棋同好会2月例会

	1位	2位	3位
A	春日 久行	滝口 純一	北原 秀誠
B	神尾 弘行	村本 健次	松原 恒二
C	大隅 勲	渡辺 敏男	仲上 徹志
D	安波 寛	赤星 文男	吉村 友行
E	山口 和夫	松尾 俊雄	梶木 繁実
F	宇部 一男	古閑 善久	木村 茂治

連 吉村 友行 ☎43・1308

### 福津市囲碁会2月例会

今回は、4月19日（第3日曜日）午前10時00分受付締め切りにより、中央公民館和室で開催します。

	1位	2位	3位
1	向井 麻郎㊟	今丸 渾㊟	宮崎 良一㊟
2	猪俣 征雄㊟	千線 勝㊟	荻野 力㊟
3	田中 英則㊟	三原 俊男㊟	箱島 孝㊟
4	林田 健介㊟	吉田 幸博㊟	堺谷 光男㊟
5	小田 邦彦㊟	佐藤 辰夫㊟	井手 美德㊟
6	松尾 正久㊟	廣瀬 博喜㊟	柳川 満㊟
7	肥高 勲㊟	高島 正憲㊟	城野 正雄㊟
8	堺 高之㊟	高木 正信㊟	山本 正三㊟

連 井本 雅文 ☎42-0566 三原 敏男 ☎42-3916  
㊟は二段、㊟は2級

### 津屋崎囲碁同好会2月例会

今回は、4月18日（土）午前10時から文化会館で開催します。

	1位	2位	3位
A	今丸 渾㊟	今泉 武志㊟	執行 清春㊟
B	永島 和彦㊟	中嶋 孚㊟	伊藤 重信㊟
C	松尾 正久㊟	宮川 義信㊟	永島 和美㊟
D	城野 正雄㊟	西住 弘久㊟	灘邊 英雄㊟
E	小田原琢磨㊟	竹山 晃㊟	岡田 和憲㊟

連 永島 和美 ☎52・5610 ㊟は二段、㊟は2級